

「人」の問題を解決し、企業の改善を図る 日本随一のコンサルティングファーム

NBCコンサルタンツ株式会社
代表取締役社長・代表税理士 野呂 泰史氏

ビジョン
トップの構想
vol. 148

ビジョン

トップの構想

vol. 148

のろ やすし
1978年、札幌市生まれ。札幌学院大学在学中から事業を手伝い、卒業後、2000年に入社。2017年代表取締役社長に就任。札幌観光大使も務める。



Information

【住】札幌市東区東苗穂4条西2丁目1-58 NBCビル
【TEL】011-786-6777
【社】187名
【WEB】<https://www.nbc-consul.co.jp/>

「社員教育」と「計数活用」
にても数字にも強いことが特長

Key Point

成長することは、お客さまを助けること 衰退・後退してはいけない

でしたが、先代の時代とは働き方や価値観も大きく変化しています。そのため、今はトップダウンよりボトムアップを意識し、それぞれの部署や社員一人一人の持ち味・主体性を生かすことを意識しています」

「経営の結果は数字がすべてであり、数字を無視した経営はできません。しかし、数字だけを見ても課題は解決できず、働いている人のモチベーションや帰属意識・社風などを改善しないとなれば、やはり数字は良くなりません。『人』と『数字』の両面からアプローチする当社のコンサルティングスタイルは、他社にはない強みだと考えています。また、創業者の哲学を受け継ぐ当社のコンサルタントは泥くさく、真剣味・一生懸命さは他社と一緒に画すと自信を持っています」

同社発刊の書籍をプレゼント!お申し込みは二次元コードから

申し込みは
こちらから



人が真ん中で、人がすべて 人に温かい会社をつくりたい

「会社の課題こそ積極的に全社員に発信するべきと考えており、当社は極めてオープンな会社です。経営情報を見せないデメリットはあっても、見せるデメリットはありません。社員はあらゆる情報を把握できるため、業績や会社の課題に対する意識は非常に高いと思います」

セミナーは年間250回以上開催し、定期情報誌や書籍の発刊も積極的に行っている。

「私たちの考え方を伝えていくことは大事だと思っています。そこからメディアとの接点が生まれたり、新たなお客様とのご縁をいただけるケースも多いですね」

同社は金融支援を必要とする企業をサポートする「405事業(経営改善計画策定支援事業)」において支援実績全国1位を達成。札幌商工会議所が主催する「SDGs経営表彰」の経営マネジメント部門賞も受賞した。野呂社長は、今後のビジョンをこう語る。

「私たちが成長することは、多くのお客様を助けることに直結します。だからこそ、成長することに思い切り力を入れ、5年間で売上倍増を目指しています」

同社は会社の経営情報をオープンにし、全社の業績や個人別の成果、社員アンケートの結果や平均年収などを全社員に公表している。

「私たちが成長することは、多くのお客様を助けることに直結します。だからこそ、成長することに思い切り力を入れ、5年間で売上倍増を目指しています」

時代と共に変化を遂げてきた同社だが、先代が築いた企業哲学は今も脈々と息づいているという。

「父は『コンサルタントとは生きざまでり職業ではない』という思想の人で、お客さまに対しても社員に対しても同様に接していました。『縁のあるあなたお客さまは絶対に倒産させない』という企業理念や、人を大切にする文化が社員に浸透しているのは、父の影響力の大きさだと感じます」

野呂社長は、同社の事業の特長、強みをこう語る。

「経営の結果は数字がすべてであり、数字を無視した経営はできません。しかし、数字だけを見ても課題は解決できず、働いている人のモチベーションや帰属意識・社風などを改善しないとなれば、やはり数字は良くなりません。『人』と『数字』の両面からアプローチする当社のコンサルティングスタイルは、他社にはない強みだと考えています。また、創業者の哲学を受け継ぐ当社のコンサルタントは泥くさく、真剣味・一生懸命さは他社と一緒に画すと自信を持っています」

同社は会社の経営情報をオープンにし、全社の業績や個人別の成果、社員アンケートの結果や平均年収などを全社員に公表している。

「私たちが成長することは、多くのお客様を助けることに直結します。だからこそ、成長することに思い切り力を入れ、5年間で売上倍増を目指しています」

NBCコンサルタンツ(株)は、会計事務所を母体とする日本最大級のコンサルティングファーム。1986年に税理士事務所として創業し、翌年経理士の役割は決算業務や税金対策だけではなく、経営者の参謀として企業を改善すべき』という考えをもとに事業をスタートしました」と言う野呂社長は、大学在籍時から事業を手伝い始め、2000年に入社した。「経営コンサルティングや会計監査、管理部門、企画・マーケティング部門など、幅広い分野の仕事に携わったことで、それぞれの領域を理解できるキャラクターを積むことができたと思います」

2017年、カリスマとうたわれた先代から事業を受け継ぎ、野呂社長は代表取締役に就任した。

「父は強烈なリーダーシップで組織を牽引するタイプのカリスマ経営者を率いていました。野呂社長は大学在籍時から事業を手伝い始め、2000年に入社した。『経営コンサルティングや会計監査、管理部門、企画・マーケティング部門など、幅広い分野の仕事に携わったことで、それぞれの領域を理解できるキャラクターを積むことができたと思います』

野呂社長は、大学在籍時から事業を手伝い始め、2000年に入社した。『経営コンサルティングや会計監査、管理部門、企画・マーケティング部門など、幅広い分野の仕事に携わったことで、それぞれの領域を理解できるキャラクターを積むことができたと思います』